

和 太鼓体感塾(子供の遊び場)を開催しました

7月27日(金)～7月30日(月)河内地域センター大ホールに於いて和太鼓体感塾と子供の遊び場が開催されました。

7月豪雨災害で避難所や自宅でも遊び場を失った子供達の為に精神科現役看護師さんによる和太鼓集団一夢庵の皆さんが海外ボランティアCIEEと一緒に「和太鼓体感塾」と「遊び場っ!」を開いてくださいました。皆でゲームやグループ・レク・アート・ワーク等「遊び場」で楽しく遊びました。「和太鼓体感塾」も演奏者、来場者が一体となって全身で和太鼓を感じ楽しいひと時を過ごしました。



敬 老会&金婚者のお祝いのご案内

9月15日(土)午前10時から河内地域センター大ホールに於いて河内地区敬老会が開催されます。

今年からは、金婚者のお祝いも同時に開催されます。会食と共に楽しい催し物が予定されています。敬老者と金婚者の方を皆さんお祝いしましょう。



竹 林寺旧道整備ご協力をお願い

9月16日(日)午前8時から竹林寺旧道の整備を行います。

区長、地区委員はもとより、地域住民の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

集合日時：平成30年9月16日(日) 8:00 集合場所：杉森神社駐車場

奥 条東地区土石流災害地にワイヤーセンサー設置

8月下旬から砂防工事に伴う現地調査、それに先立ちワイヤーセンサーの設置工事(~9/E)が始まります。設置後は赤色回転灯、警報音(サイレン)で異常を知らせます。

工事には土砂の撤去もあります。付近の通行には注意願います。



棕梨川流域



城渡橋に帰ってきた鯉

復興に向かってがむぼろ

7月5日に降り始めた雨が豪雨となり、それに伴う土砂災害・河川災害・JR線路の寸断等大きな被災を受け、死者4名、行方不明者1名という人身災害にも繋がっています。地域内では道路が寸断され交通マヒの状態が発生しました。復旧に向けて警察、消防、自衛隊、地区内外ボランティアの行動により早急な対応が進みました。

下河内地区の線路寸断と県道33号線の崩壊は同時に工事が進められ、日々進展が見られ、20日以降地元住民の皆さんは工事用の道路を一時的に通行させて頂いています。ありがたいことです。

上河内、正尺地区の沼田川沿いは大型土嚢を使って仮復旧されています。又、串ヶ平、本町筋の棕梨川にも大型重機がフル稼働で作業を行っています。市民グラウンドでは大型土嚢が数千個も作られて棕梨川の復旧を支えています。

八幡原墓地への通行も何とかお盆に間に合いました。

城渡橋の名物【鯉】も洪水に負けず橋の袂に相当数が帰って来ています。

まだ車で小田へは行けない、本郷へも行けない状況が続いていますが、迂回路を利用して何とか行き来ができる様になりました。

JR山陽本線の早期復旧が望まれるが、市の支援バス、JR代行バスなどの手配がなされました。早期対応に関係各位へ感謝いたします。

又、災害への個別対応では高校生の方、河内を応援したいと直接来ていただいた皆さん、地元の方々のご協力が大きな力を発揮しました。避難所、被災地への力強い支援、入浴施設の設置、高齢者の方々へのフォローもいただきました。本当にありがとうございました。

まだ応急的復旧の段階です。現在個々の、り災案件は約180件です。今後、恒久的復旧には長い月日が必要と思われれます。地域住民の皆さんの更なるご支援ご協力をお願い致します。



上河内



串ヶ平



正尺



本町



下河内